

図書館建設について

問 建設年次等今後のスケジュールについて伺いたい。

答 12月5日に第1回目の「大洲市図書館建設検討委員会」を開催し、東若宮地区に建設することが望ましいと決定いただきましたが、今後は建設場所、設計内容、構造・施設・設備内容など図書館建設に関する全てについて具体的に検討していただく予定です。

また概略のスケジュールとして、来年の9月頃工事に着手し、平成20年10月頃には竣工できるよう合意をいただいたところです。

新図書館の建設については、今後積極的に検討委員会を開催し、住民ニーズにあったものとなるよう取り組んでいきます。

問 障害者及び弱者のための防災対策について

障害者等の防犯・防災対策について

問 障害者及び弱者のための119番通報対策について伺いたい。

答 当市で聴覚または音声言語に障害のある方は9月末現在で259人おられ、フックスによる消防署への通報が可能となっております。またメールを警察に送信する「メール110番」は緊急時に声が出せない状況の方も有効な方法と考えています。

松山市や新居浜市の消防本部では携帯電話による119番通報システムを導入されていますが、導入や維持には多くの経費も必要であることから、当市としてはまず安価に利用できるシステムの活用を検討していきたいと考えています。

なお、携帯電話を持っていない方や利用が困難な方には現在独居高齢世帯に利用している緊急通報装置で対応したいと考えています。

救急医療体制について

問 救急疾病患者及び小児患者の受入れ体制の現状と支援策について伺いたい。

答 現在大洲市で緊急入院が必要なお患者に対しては、市内4病院の輪番で対応を行っていますが、より高度で集中的な治療が必要な場合は松山圏域などにある総合病院への転送を行っています。

また小児についてはその特殊性からまず本人かかりつけの小児科医に受入れの可否を確認し、受入れができない場合は救急輪番病院へ搬送をしています。

大洲市での輪番制への支援については、三位一体改革により国、県からの補助金が廃止され、その分を現在圏域3市2町が負担していますが、この金額では運営ができないため輪番の各医療機関には多大な負担をいただいているのが現状です。

このように大変厳しい運営状況ですが、今後も市民や圏域住民の救急医療体制確保のためこの輪番制を継続していきます。

山鳥坂ダム環境影響調査準備書について

問 準備書の評価及び大洲市の意見について伺いたい。

答 準備書は、できる限り諸々の意見を反映の上、調査及び予測並びに環境保全措置について検討された結果について取りまとめられているものと考えていますので、

山鳥坂ダム建設事業の実施により選定された項目が環境項目に及ぶ恐れがある影響について、事業者により実施可能な範囲内での限り回避・低減され、また今後においても必要に応じ環境保全の措置が講じられるものと判断しています。

大洲市の意見としては、住民及び事業者からの意見を考慮し総合的に判断し提出したいと考えています。

問 地元への十分な説明の実施について伺いたい。

答 説明会については、脇川町で4回程度開催を予定されていますが、準備書をより広範囲へ周知するため、ジェール大洲での開催のほか、ホームページでの公開や随時山鳥坂ダム工事事務所への質問等が可能となっております。

また意見の提出期間も十分あり、住民の意見を聞く機会には十分とらわれていると考えています。



図書館移転建設地となる東若宮地区



訓練に励む消防署。救急輪番病院との連携が不可欠。